

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	022									
事務事業名	市民・福祉センター管理経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	03	項	01	目	01	事業	05
担当部	保健福祉部	担当課	幸せ長寿課		担当係	支援		係												
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 第2期常総市地域福祉計画)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市福祉会館の設置及び管理に関する条例)													

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。									
現状課題	平成26年度までは指定管理者として社会福祉協議会に管理運営を委託、平成27年度からは社会福祉協議会の事務所移転問題が出たため社会福祉課で管理、平成29年度からは社会福祉協議会の本所移転に伴い事務所を残しているシルバー人材センター所管の高齢福祉課で管理している。課題としては、シルバー人材センター及び社会福祉協議会の事務所移転先が決まらないことから施設の存廃について結論が出ていないことがある。					誰・何を対象に	外郭団体(シルバー人材センター、社会福祉協議会)、市民団体等					望ましい状態	昭和49年に建立した建物であり老朽化は進んでいるので、存廃を含め今後の方針を早急に出さなくてはならない施設。また、社会福祉協議会、シルバー人材センターの事務所移転に振り回されている状況で、利用している市民、団体も戸惑いがある。どのような結論であろうと市としての考えをはっきりさせることが望ましい形と考える。						
どのような方法・手順で						事務所、会議室等の貸し出し													

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。															
指標名	施設存廃の方針決定		単位			目標値			目標年次			年度			指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	施設の老朽化が進んでいるため、積極的に市民に貸し出しを行っていない(社協関連の団体が使用しているのみ)ので、現段階で利用率や稼働率などの数値目標を設定することは難しい。今後目標値を設定するためには、本施設をどのように利用するか(または廃止するか)という明確な方針を出す必要があると考える。									

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。											
年度	平成28年度					平成29年度					平成30年度										
	業務名		活動量			業務名		活動量			業務名		活動量								
事務事業を構成する主な業務	① 警備委託(機械警備)	365日		① 警備委託(機械警備)	365日		① 警備委託(機械警備)	365日		① 警備委託(機械警備)	365日										
	② 清掃委託	週2+定期		② 清掃委託	週2+定期		② 清掃委託	週2+定期		② 清掃委託	週2+定期										
	③ 電気安全管理委託	12回		③ 電気安全管理委託	12回		③ 電気安全管理委託	12回		③ 電気安全管理委託	12回										
	④ 施設管理委託(敷地内除草作業)	2回		④ 施設管理委託(敷地内除草作業)	3回		④ 施設管理委託(敷地内除草作業)	3回		④ 施設管理委託(敷地内除草作業)	3回										
	⑤ 火災報知器等保守管理委託	2回		⑤ 火災報知器等保守管理委託	2回		⑤ 火災報知器等保守管理委託	2回		⑤ 火災報知器等保守管理委託	2回										
	⑥ 賃借料(清掃用具借り上げ)	12回		⑥ 賃借料(清掃用具借り上げ)	12回		⑥ 賃借料(清掃用具借り上げ)	12回		⑥ 賃借料(清掃用具借り上げ)	12回										
	⑦ 水質検査	1回		⑦ 水質検査	1回		⑦ 水質検査	1回		⑦ 水質検査	1回										
	⑧ 受水槽清掃	1回		⑧ 受水槽清掃	1回		⑧ 受水槽清掃	1回		⑧ 受水槽清掃	1回										
	⑨ 需用費(消耗品、燃料、光熱水費)	随時		⑨ 修繕	2か所		⑨ 修繕	2か所		⑨ 修繕	2か所										
	⑩ 役務費(電話料)	随時		⑩ 需用費(消耗品、燃料、光熱水費)	随時		⑩ 需用費(消耗品、燃料、光熱水費)	随時		⑩ 需用費(消耗品、燃料、光熱水費)	随時										
	⑪			⑪ 役務費(電話料)	随時		⑪ 役務費(電話料)	随時		⑪ 役務費(電話料)	随時										
	⑫			⑫			⑫			⑫											
目標値に対する実績値						目標値に対する実績値						目標値に対する実績値									
決算額	計	3,697,793 円	内訳	特定財源			円	計	3,101,047 円	内訳	特定財源			円	計	3,608,311 円	内訳	特定財源			円
				一般財源	3,697,793 円						一般財源	3,101,047 円						一般財源	3,608,311 円		
					61 円							51 円							60 円		
					(住民一人あたりの行政コスト)							(住民一人あたりの行政コスト)							(住民一人あたりの行政コスト)		

5 担当者評価 ③										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	社会福祉協議会及びシルバー人材センターの事務所問題が停滞しているため																	
問題点	社会福祉協議会が事務所を移転するという事で高齢福祉課所管になったが、現状では事務所移転を検討しているとは思えない状況(在籍職員数:平成29年度当初3名⇒平成30年度末10名以上)。また、シルバー人材センターについては、事務所の移転について検討しているものの、数多く抱えている作業機器類の保管場所や作業場所の確保など移転先に条件が付くため、具体的な移転場所の選定が出来ていない。耐震性が低い建物であるのだから、社協、シルバーともに早急に移転先を決定し、建物の使用を禁止とすべきである。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ③										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	施設の耐震性の問題により、社協及びシルバー人材センターの事務所移転について協議しており、結論に至っていない。社協については一部、石下総合福祉センターへの移転を行っています。移転又は耐震補強による存続等については、早急な判断が必要である。方向性が決定するまでは、適正な管理を行っていく必要がある。																		

7 実施計画 ⑥										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度								
事業内容	●施設維持管理業務 3,462千円 ・需用費 1,551千円 ・役務費 115千円 ・委託料 1,786千円 ・賃借料 10千円 ●施設の存廃についての検討 (1) 存続させる場合 ○存続させる方法は? ① 建替え ② 耐震補強+大規模改修 ③ 耐震補強+軽微の改修 ④ 耐震補強 ○存続させる理由は? ・市民・福祉センターとして市民への貸し出しを行うのか? ・社協、シルバーの事務所として使用させるのか? ・収入を見込めるような別の使用方法についての検討も必要か? (2) 廃止する場合 ○廃止する理由は? ○廃止時期をいつにするか? ○その他の施設(倉庫・作業場など)はどうするか? ○社協、シルバーの事務所の移転先は?					●施設維持管理業務 3,338千円 ・需用費 1,644千円 ※消防用設備等点検において、屋内消火栓設備の交換・改修等の指摘があったことから、消火栓ホース耐圧試験・交換、屋内消火栓設備本体の調査及び改修を予定。(見積り)屋内消火栓ホース耐圧試験54,450円。屋内消火栓ホース取替112,200円。 ・役務費 115千円 ・委託料 1,569千円 ・賃借料 10千円 ※下記については、管理経費とは別に予算計上する必要がある (1) 存続させる場合 ・耐震補強実施設計 4,000千円(※菅原小、大花羽小を参考) (2) 廃止する場合 ・解体工事実施設計 2,500千円(※旧石下庁舎を参考)					●施設維持管理業務 3,338千円 ・需用費 1,644千円 ・役務費 115千円 ・委託料 1,569千円 ・賃借料 10千円 ※下記については、管理経費とは別に予算計上する必要がある (1) 存続させる場合 ・耐震補強工事 10,000千円~20,000千円(※管財係試算) ・改修工事 20,000千円~100,000千円(※利用方法による) ・工事監理 3,000千円(※改修工事の内容による) (2) 廃止する場合 ・解体工事 40,000千円~50,000千円(※旧石下庁舎を参考) ・工事監理 2,000千円 ※跡地に建物を建設する場合 ・実施設計費								
	成果指標	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値									
	予算額	歳出	計	3,462 千円	歳出	計	3,338 千円	歳出	計	3,338 千円									
		特定財源	千円		特定財源	千円		特定財源	千円										
	歳入	一般財源	3,462 千円	歳入	一般財源	3,338 千円	歳入	一般財源	3,338 千円										
		計	3,462 千円		計	3,338 千円		計	3,338 千円										

8 財務アドバイザーの見解									
6の評価理由にあるように、耐震性の問題は喫緊の課題である。市の財政を鑑み、休止・廃止も選択肢として、本事務事業の必要性と計画に関するゼロベースの検討を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。施設の耐震性に問題がある限り、社協とシルバー人材センターを早急に移転すべきであろう。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ③																			
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	当施設は、施設の耐震性の問題により、当施設で執務をとっていた社会福祉協議会及びシルバー人材センターについては、事務所移転又は耐震補強による存続等についての協議が必要となっている。この現状を踏まえ、今後については、早急に市民・福祉センターは廃止も含め、施設の今後のあり方について検討を開始し、方向性が決定するまでは、必要最低限の適正な管理で行っていくべきである。																		

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ④										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	社会福祉協議会及びシルバー人材センターの事務所移転又は耐震補強による存続等については、検討しているが方針が決まっていない。「縮小」との最終評価を受けているが、具体的な方針が決定するまでは、必要最低限の施設の維持管理経費を計上し「現状維持」とした。																		